

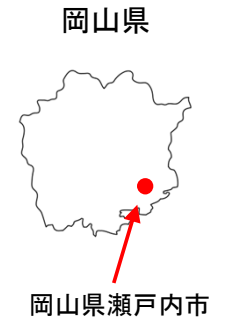
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 市南部に位置しており、温暖な気候を活かしたキャベツ、ハクサイ、冬瓜などの露地野菜が盛んな地域
- 高齢化等の影響で受け手不在農地が増加しているため、今後関係機関と担い手の連携により地域農業の活性化を図る必要がある地区

【支援内容・背景】

- 地域の担い手が、受け手不在農地を集積・集約することで規模拡大を図り、安定した農業経営を行う取組を支援することが必要。
- 助成対象者は近年、地区内で露地野菜作の経営規模を急速に拡大している。今後、さらに広域で営農を行うためには、農作業の効率化を図る必要があり、効率化に向けた農業用機械等の導入を支援し、将来的な地域の担い手として安定した農業経営モデルとなるように支援。



助成対象者「株式会社 T」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成30年 営農開始
- 令和1年 法人化（株式会社）
- 令和3年 経営改善計画の認定（広域）

《事業活用の背景》

○ 今後、規模拡大を図り、広域で農業経営を進めていくためには、各農作業工程に費やす時間を削減して農作業を効率化することが必要。このため、白菜・キャベツ等の収穫作業の効率化に資する高性能なトラクター等を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 付加価値額 15,554千円
- 経営コストの縮減
2,122千円/10a
- 露地野菜 3.4ha

《事業による整備内容》

- トラクター 1台
事業費 6,325千円
（国費 1,725千円）
- トラクター用
ローダー・リフト 1台
事業費 2,277千円
（国費 621千円）

【現在の経営状況】
〈R5年度〉

- 付加価値額 18,938千円 **(122%)**
- 経営コストの縮減
1,307千円/10a **(38%)**
- 露地野菜 4.4ha **(129%)**

事業の効果

《対象者》 高性能な農業機械を導入したことで、農作業の効率化を実現。経営面積が拡大し、付加価値額が向上。

《地区》 農作業の効率化により、生産面積が拡大し、地域の担い手による露地野菜の大規模経営モデルが確立。